

カミナリシギから 軽井沢の草原を考える

カミナリシギ（オオジシギ）は、草原や湿地にのみ住む夏鳥で、遠くオーストラリアから渡ってきます。草原や湿地が減少した今、長野県では軽井沢や霧ヶ峰など限られた場所にしかいません。オオジシギの壮観な飛行ディスプレイや早朝の鳥たちのコーラスを観察し、軽井沢の草原や湿地の保全を考えます。



© Masano NAKAMURA

日 時：平成 24 年 (2012 年) 年 5 月 20 日 (日) 午前 2:30~5:00

集合場所：軽井沢町発地・ホテルの里駐車場（裏面地図参照）

対 象：一般(小学校高学年以上)

定 員：20 名

参加費：一人 200 円（傷害保険料*）

*補償の詳細は研究所までお問い合わせください。

持ち物：筆記用具、双眼鏡（お持ちの方）、飲み物、軽食

かなり冷え込むことがありますので暖かい服装、雨具

その他：小雨決行

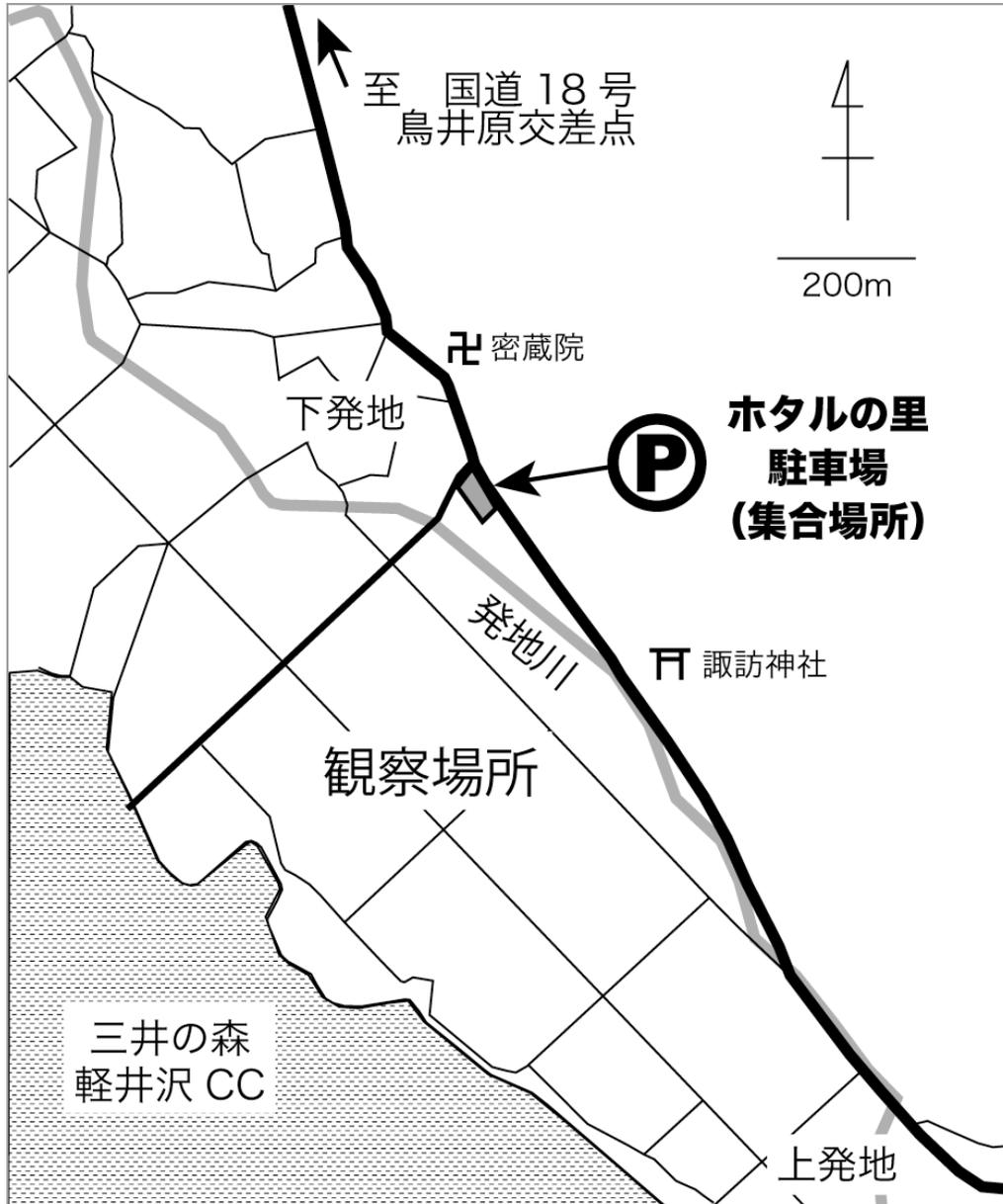
申込方法：郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記の上、ファックス、電話または E メールでお申込みください。

共催：NPO法人 生物多様性研究所 あーすわーむ

お申込・問合せ先：長野県環境保全研究所（担当）堀田昌伸・須賀 丈・尾関雅章
〒381-0075 長野市北郷 2054-120 TEL. 026-239-1031 FAX. 026-239-2929
E-mail：kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp（当日連絡 090-1041-9222）

集 合 場 所

軽井沢町 発地 ホタルの里駐車場



カミナリシギってどんな鳥？

全長 23-33cm、体重 95-277g、ハトより少し小さい鳥。カミナリシギは壮観な飛行ディスプレイからついた名前で、正式にはオオジシギと言います。夏は本州中部以北の湿原や草原で子育てし、冬はオーストラリアに渡って過ごします。現在、オオジシギが生活する湿地や草原はかなり少なくなっています。そのため、個体数が減少し、絶滅の危険性が高くなっています。長野県でオオジシギを普通に見られるのは、軽井沢と霧ヶ峰の二カ所ほどです。それほど発地の環境はかれらにとって重要になっています。